

サワイグループホールディングス株式会社

資産譲渡(譲受)契約締結について ～自社生産能力年間200億錠以上の早期確立へ～

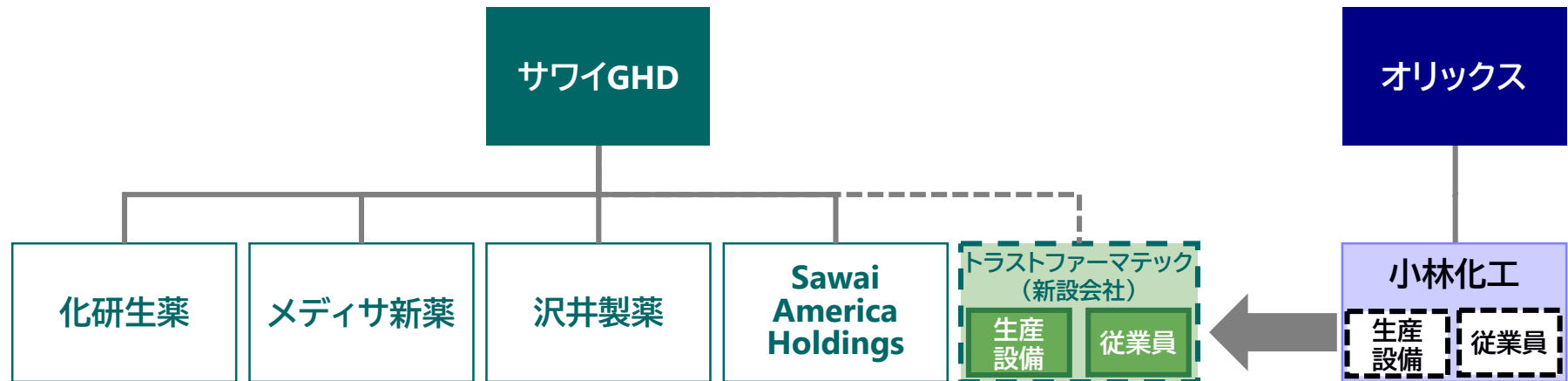
2021年12月3日

東京証券取引所市場 第一部
証券コード:4887

sawai

譲受対象	小林化工の医薬品製造に係る資産、従業員 (承認品目、在庫、既存債務及び潜在債務等は承継しない)
戦略的意義	当社供給能力の強化、及びジェネリック医薬品業界の信頼回復
資金調達	手元資金から充当
スケジュール	現時点では2022年3月末に譲渡完了予定 対象従業員は2022年4月1日入社を予定

- サワイグループホールディングスの直下に新設会社(トラストファーマテック)を設立
- 新設会社が小林化工の医薬品製造に係る資産及び従業員を譲り受ける



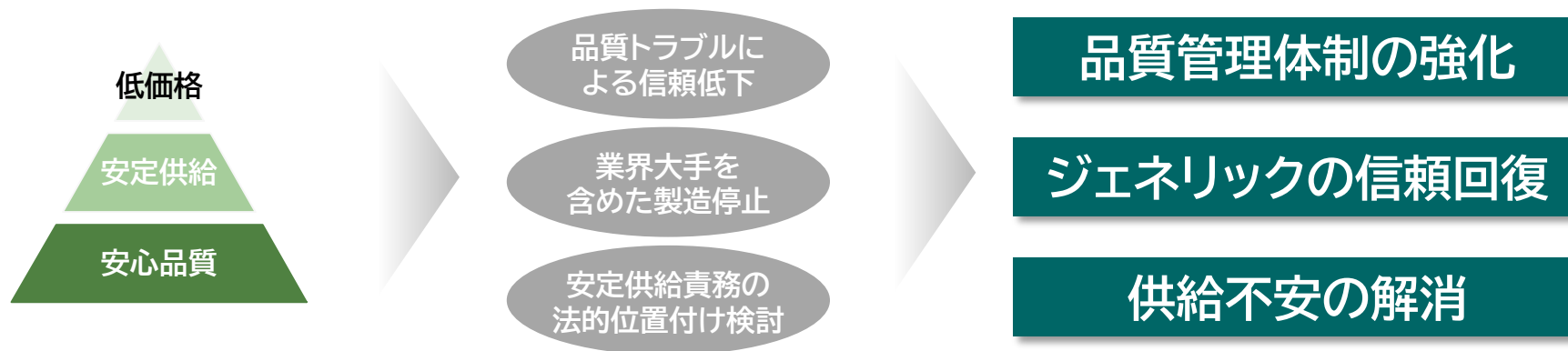
譲受主体

- サワイGHDの直下に新設会社であるトラストファーマテックを設立
- トラストファーマテックが小林化工の医薬品製造に係る資産を譲り受ける
- 小林化工の医薬品製造に係る従業員が新設会社へ転籍

- ジェネリック医薬品業界における品質管理体制の強化・供給不安の解消に向けた早期対応が必要
- 想定を上回る注文をいただくなか、出荷調整の早期解消に向けた生産能力の拡大が必要

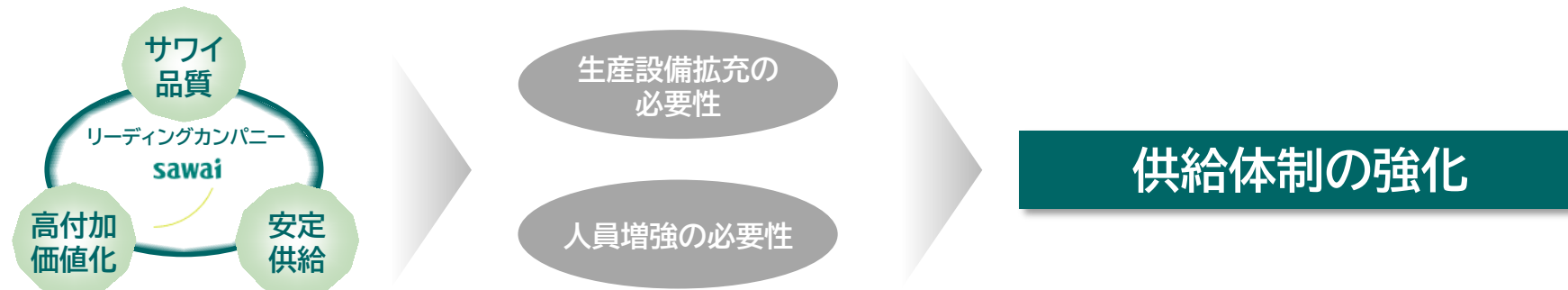
ジェネリック医薬品業界における課題

社会インフラ機能発揮が求められるジェネリック医薬品業界



当社の日本事業における課題

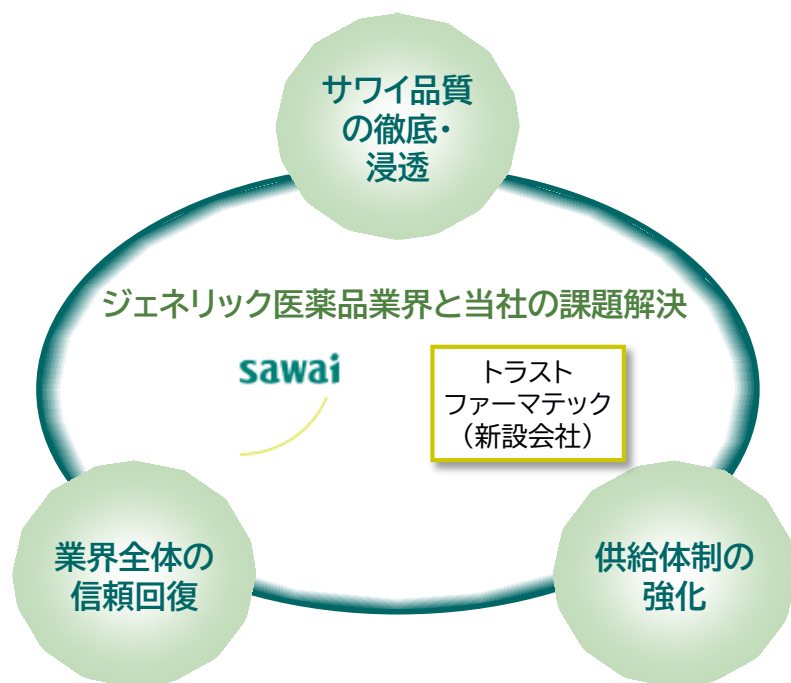
国内ジェネリック医薬品業界におけるリーディングカンパニーの役割



- ジェネリック医薬品業界のリーディングカンパニーとして、業界が抱える課題解決に貢献
- 現中期経営計画の柱の一つである“シェア拡大”を実現させる戦略的取り組み

■ 本件取り組み意義

リーディングカンパニーとして業界の課題解決・
当社グループのシェア拡大を実現



■ 本件の位置付けと今後の方針

- 中期経営計画で掲げる、シェア拡大の実現
 - シェア拡大には生産能力の拡大が必須
- 当社G製品を生産する製造設備と人材の獲得
 - 当社G製品の増産に寄与
- 安定供給責務の法的位置づけ検討を踏まえ、安定供給体制を実現

- 2022年3月末：譲渡完了 予定
- 2023年4月頃：出荷開始 予定

概要

製造拠点*	・ 矢地第一工場(福井県) ・ 矢地第二工場(福井県) ・ オンコロジーセンター(福井県) ・ 清間第一工場(福井県) ・ 清間第二工場(福井県) ・ 総合物流センター(福井県)
従業員	生産関連、その他部門の人員を受入予定

* 工場名・物流センターは2021年12月3日時点における小林化工の施設名を記載

工場・物流センター*



- 本件は中期経営計画で発表した投資計画に沿った戦略的取り組みの一環
- 当初の予定通り、本件を含めた供給体制強化に係る費用を手元現預金とGE事業の営業C/Fで賄う

営業C/Fと投資計画

GE事業の 営業C/F 3年想定 約1,000億円 現預金 約540億円 (2021/3期)	研究開発費 (GE医薬品事業)	約450億円	米国投資 約100億円 国内投資 約600億円
	研究開発投資・ 製品等買収	約300億円	
	その他		
	本件		
	第二九州工場 新固形剤棟建設		
	新規事業 (投資予定枠)	300億円	
	株主還元	3年の配当総額 170億円以上	

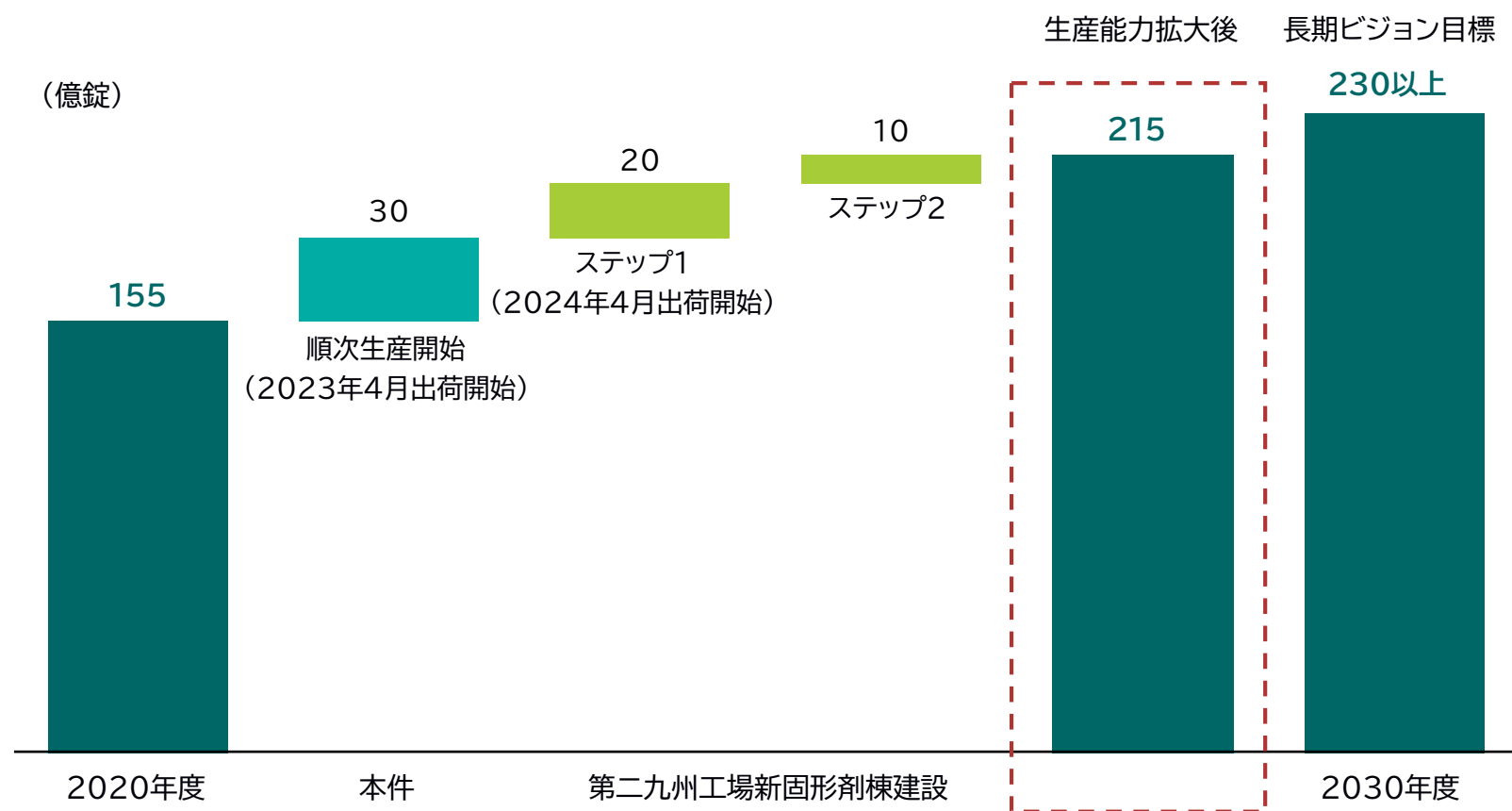
中期経営計画期間中の投資計画

本件実施後の生産体制



- 本件及び第二九州工場新固形剤棟建設を通じた生産能力の増強により、さらなるシェア拡大を目指す

生産能力と長期ビジョン



- 本資料に記載されている弊社グループの計画・予測・戦略などにつきましては、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断にもとづくものです。従って、潜在的リスクや不確定要素により、実際の業績と異なる可能性があります。
- 潜在的リスクや不確定要素には、弊社グループの主たる事業領域であります医療用医薬品を中心とした経済環境、市場における競争状況、弊社グループのサービス等が考えられますが、これらに限定されるものではありません。

お問い合わせ先

サワイグループホールディングス株式会社 グループ広報・IR室

◆報道関係者様 お問い合わせ先◆



koho@sawaigroup.holdings



06-6105-5718

◆IRに関するお問い合わせ先◆



ir@sawai.co.jp



06-6105-5823